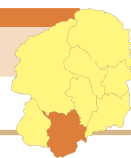


下都賀地域 ～若者が夢を描ける新時代農業への挑戦～



地域農業の現状と課題

下都賀地域は、北西部の中山間地域と東の鬼怒川、南の渡良瀬川に囲まれており、地域を流れる田川、思川、巴波川、永野川などの流域には、水利に富んだ広大で肥沃な水田地帯が広がり、また東部の台地には、南北に続く畑地帯が形成されています。

ほ場整備が進んだ水田地帯では、県内最大の二毛作地帯として県産麦の4割以上が生産され、米麦中心の土地利用型農業が営まれるとともに、いちごやトマトに代表される施設園芸や和牛肥育を中心とした畜産経営が展開されています。また、畑地帯には、レタスやほうれんそう、かんぴょうなどが多く生産され、県内を代表する園芸地域となっています。

一方、県内一を誇った販売農家数は、高齢化などから減少が著しく、主力品目のいちご、ぶどうをはじめ多くの品目の作付面積が減少し、産地の維持が困難になりつつあります。

また、多面的機能支払などの共同活動は多くの地域で取り組まれているものの、担い手への農地集積が進んでいないため、話し合いにより地域の将来を明らかにし、先端技術の活用等による収益性の高い経営を進めていく必要があります。

計画の推進方向

- 地域内外からの新規就農・参入者の確保に向けた体制構築
- 地域の強みである園芸産地の振興、土地利用型経営体の育成による水田農業の展開
- 収益性の高い経営体と多面的機能支払などの共同活動の連携による魅力的な地域づくり

地域戦略1 県内園芸をリードする園芸産地の振興

いちご・トマト等の施設園芸を中心に産地を維持・発展させるため、地域内外から継続的に新規就農・参入者を確保する体制を構築します。

施設園芸については、市場性のある多収性品種の導入、ICT機器等を活用した精度の高い栽培管理の実現に取り組み、一層の単収向上を図ります。

土地利用型園芸については、一層の産地強化と周辺地域への波及を図るとともに、機械化体系の導入による規模拡大を進めるほか、販路の確保のため契約取引の拡大を図ります。

果樹については、産地の競争力を高めるため、消費者の嗜好に応じた品種の導入と早期の成園化、作業の省力化の取組を進めます。

項目	現状(2019年)	目標(2025年)
いちごの新規就農者数	45名/5年間	60名/5年間
施設園芸(いちご、トマト)のスマート農業技術の導入割合	25.3%	40%
食品企業との連携を目指す産地数	5産地	15産地
農福連携の取組数	30件	40件
基盤整備と連動した園芸の作付推進	5地区	13地区

成果指標



次世代型ハウス(トマト)

**人づくり**

- ◆ 市町・農業協同組合の独自就農支援体制の構築と強化
- ◆ 園芸経営を志向する多様な担い手の確保・育成
- ◆ 農業への理解促進と「あこがれの職業、農業!」の推進

**ものづくり**

- ◆ ICTなど新技術活用による園芸生産の高度化
- ◆ いちごの品種構成の適正化と育苗委託システムの構築による産地維持
- ◆ 食品企業等と連携した加工・業務向け品目の生産と産地の育成

**地域づくり**

- ◆ 栃木県型地下かんがいシステム等の創意工夫による水田を活用した土地利用型園芸の安定生産推進
- ◆ ぶどうやかんぴょうなど地域特産物の産地維持発展に向けた生産体制の強化、情報発信及び交流促進
- ◆ 他分野との連携による地域づくり

**地域戦略2 土地利用型経営体による持続的水田農業の展開**

メガファームから家族農業まで地域の農業を担う土地利用型経営体の規模拡大やスマート農業による生産性の向上を推進するとともに、二毛作等の水田フル活用による経営の高度化・複合化に取り組み、持続性の高い魅力(稼げる・効率的・感動)ある水田農業を展開します。

人・農地プランを踏まえた集落・地域の徹底的な話し合いを促進し、地域の中心となる土地利用型経営体(法人、集落営農、個人)が活躍するための生産基盤の整備や農地の集積・集約等に対する合意形成を図り、競争力のある持続可能な地域農業の実現を目指します。

項目	現状(2019年)	目標(2025年)
広域営農を展開する組織数	1組織	8組織
土地利用型経営体(10ha以上)による集積面積	7,055ha	8,300ha
水田における土地利用型作物の作付面積 (戦略作物+ハトムギ+露地野菜)	9,144ha	9,613ha
法人メガファーム数(1億円プレーヤー)	7法人	10法人
ほ場整備実施地区におけるスマート農業実践面積	5ha	140ha
50a以上の大区画整備率	16.8%	18.3%
地域営農ビジョン策定組織数	3	35
多面的機能支払新規取組地区数*	— (93地区)	5地区 (98地区)



地域農業の将来に向けた話し合い

※下段( )内は全取組地区数

**人づくり**

- ◆ 人・農地プラン、多面的機能支払の取組推進と地域農業の担い手の確保
- ◆ 稼げる農業を実践する企業的経営体、メガファームの育成と波及推進
- ◆ 経営力向上による稼げる家族農業の推進
- ◆ 農業への理解促進と「あこがれの職業、農業!」の推進

**ものづくり**

- ◆ 二毛作等による土地利用型作物の作付拡大
- ◆ ICT等を活用したスマート農業の普及・定着

**地域づくり**

- ◆ スマート農業導入に対応できるほ場整備と農業水利施設機能保全による農業用水の安定供給
- ◆ 多様な人々が住み続けられる農村づくり